

画：友安よーいち
第92話「春を楽しむ」



<編集後記>

介護予防の取り組みを取材しました。「元気なうちから運動などの介護予防に取り組む、自分でできることは自分です」意識が大切だと、あらためて感じました。(佐藤)

総合計画等審議会の吉丸会長、区長会の橋ノ口会長を取材しました。一人ひとりが、できる範囲でちょっとした取り組みを積み重ねることが、結果として地域のためになるのだと感じたインタビューでした。(前原)

心の花びら

風辛夷ちよきぱーもありシニアカー (小林合歓の会 中園直子)
春兆すB鉛筆の軽さかな (小林合歓の会 海蔵由喜子)
残像はスローモーション落椿 (小林合歓の会 清本幸子)
つかぬ間の過ぎしきらめき霧島の雪 (小林合歓の会 倉田玲子)
水温むクレソン一束買求め (小林合歓の会 入佐典子)
学びしは失恋のみの卒業式 (小林合歓の会 青山スミ子)
桜の密メジロ目が無く鳴くも忘れ (長友正臣)
平成の各残植樹のしだれ梅令和四年度花傘見事 (家村昭文)
限りなく青く澄みたる二月の蠟梅つき飛び去る小鳥 (前満英子)
紗の衣まといて並ぶ春の峰よわいを忘れおどり出でみむ (佐枝記子)
オミクロン今日は何市が何十人気になるニュース我が市の数 (永友チエ)
被害でも地震と戦争お違い地震は自然戦争は人間 (武ナミ子)

SUKU SUKU



小城市優待優待くん
令和3年8月10日生

毎日たくさん笑顔をありがとう。これからもたくさんの思い出作っていきましょうね。

保護者：小城 比呂志、あゆみ

すくすく募集中!

必要事項を郵送またはメールでお送りください。

- ◆必要事項
- ・子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別
- ・掲載する写真
- ・保護者の名前
- ・コメント (50文字以内)

【申・問】・地方創生課
mail info@city.kobayashi.lg.jp

小林市立図書館
問=TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜



図書 BOOKS

親から子へ 子から孫へ
語りつなぐ童話の世界

4月23日(土曜)～5月12日(木曜)は「こどもの読書週間」です。子どもだけでなく大人も一緒になって楽しめる童話を集めた展示を行います。

- ◆期間：4月2日(土曜)～5月31日(火曜)
- ◆場所：図書館本館1階エントランス

この他にも、「こどもの読書週間」期間中は「岩波少年文庫」の特集や職員おすすめの本の展示を行っています。ぜひ、本との出会いを楽しんでください。

休館と開館時間

- 【本館】毎週月曜は休館
◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
- 【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 9時～17時
- 【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館(本館・須木・野尻)休館

図書館からお願い

図書館の返却ポストに、図書館の本ではない本が入っていることがあります。それらの本や館内での落とし物は、3か月間保管しますが、その後廃棄します。

間違ってもポストに入れてしまった場合は、図書館カウンターにお尋ねください。



小林市観光協会と
統合し新体制に

昨今のコロナ禍もあり、今後の観光業は大変難しい局面を迎えています。アフターコロナ観光に向けて、各地方自治体の観光産業の市場競争が激しくなる中、より世の中の変化や消費者のニーズに柔軟に対応できる組織体が必要と考え、観光窓口の統合をすすめてきました。

国がすすめる観光地域づくりの牽引役として、観光庁より登録されたDMO法人である小林まちづくり株式会社の観光推進部の企画力・プロモーション力・発信力と、従来小林市観光協会が担っていた事業を統合する事によって、西諸県圏域における観光の中核的存在になれること、行政やお客様にとっての窓口が一本化する事によ

て、今まで以上にスピーディに観光振興を推進できると考えています。

KITTO小林1階の小林市観光協会窓口は「小林観光案内所」とし、今後も市民の皆様や小林を訪れる方々の観光情報収集の場として、多くのサービスを提供します。



小林まちづくり(株)



小林観光案内所